

1学期ありがとうございました

毎日が、あれよあれよと過ぎていき、もう1学期が終わります。学校は毎日賑やかな子どもたちの声であふれ、充実した1学期が送れたものと考えております。保護者、地域の皆様には、多大なるご理解とご協力をいただき、なんとか無事に1学期が送られたこと、厚く感謝申し上げます。

7月4日から3日間の地区懇談会は、大変お世話になりました。開催自体もそうですが、子どもたちも参加しての地区懇談会は久しぶりのことでした。職員の中には、これまでコロナ禍で中止だったことや他市町から異動してきて、このような地区懇談会への出席が初めてという者も少なくありませんでしたので、要領を得ずご迷惑をおかけした地区もあったかと思えます。各職員からの報告を聞くにあたり、あらためて地域の思いを感じるに至りました。

7月10日の大雨も雨雲レーダーの画像では、登校時はある程度雨は収まる状況かと思われましたが、やはり線状降水帯は予測がつきにくいということをお知らせされました。市内各所で大きな被害が出ており、現在も復旧に向けた調査・作業が行われていると聞いています。

21日からは個人懇談が始まります。お子様の1学期の様子や今後のお子様のよりよい成長に向けて有意義な懇談となるよう、職員一同準備を進めております。お忙しいところ恐縮ですが、どうぞよろしくお願いいたします。

ゆめどんさん ありがとうございました

7月7日は1学期最後のゆめどんさんによる読み語りでした。この日は七夕ということで、2年生の教室では、織姫と彦星の物語を大型紙芝居(からくり紙芝居)で楽しく読んでいただきました。最後は全員で「たなばた」の歌を歌って終わるなど、工夫を凝らした読み語りをしていただきました。子どもたちのために本当にありがたく思います。ありがとうございました。

写真右2年生、左1年生。吉井さんご夫妻で活動いただいています。



着衣泳～水難事故に注意！～

5、6年生では、「着衣泳」をプール学習最終日(18日)に実施しました。講師は、青少年赤十字の方々です。ランドセルも浮き輪代替になるなど、教えていただきました。服を着た子どもたちが、一斉にプールに仰向けに浮かんでいる姿は、訓練だと分かっているにもかかわらずぞっとしました。



ようこそ(大)先輩～70年前の小学生～

見守り隊をしてくださっている樋口さんから、「同窓会をするのだけれども、小学校を見学させてもらえないだろうか」と相談がありました。もちろん二つ返事です。7月11日の5校時頃、10名ほどが来校されました。当時はまだ城田小学校だったということ、この場所は中学校であったことなどお話いただきました。校長室前の卒業写真をしげしげと眺められ、当時の先生の名や友人の名を懐かしそうに呼ばれている姿が印象的でした。元気な子どもたちの授業の様子もぐるっと参観いただきました。



校長のひとりごと

7月の初め、この通信「Shi ro ta(しろた)」を回覧で読んでいたという、地域の方から匿名のお手紙をいただきました。私(校長)の母方の叔父を知るという方からでした。第1号にて私の母が千代田中部小出身と書いていたことからたどり着いたとのこと。手紙には、中部小学校での思い出や叔父との関わりなど、幼少、学生時代を懐かしむ思いが綴られておりました。文末は「後年、中部小で学んで良かったと言える卒業生が一人でも多く出ることを切に願います。」と締めくくられておりました。

本当にありがたく読ませていただきました。地域の方の中部小に対する思いを知ると同時に、人とのつながりの意味深さを感じました。どうしても感謝の意を伝えたく、私信ではありますが、どこかで目にしていただければと思います。掲載させていただきます。どうかご了承ください。